

百日咳 が増えていきます！

三種混合ワクチンで赤ちゃんを守ろう！

★ 百日咳とは

- ・強い感染力を持つ百日咳菌による病気です。
- ・初めの1～2週間は軽いカゼ症状です。その後、だんだん激しい咳発作に変化します。顔を真っ赤にしてコンコンコンと咳込んだ後にヒューッと息を吸う咳発作が特徴です。
- ・赤ちゃんがかかると息が止まってしまったり、けいれんを起こして重症となり命にかかわることもあります。
- ・咳発作は夜中に出ることが多く3か月間ぐらい咳が続くことがあります。
- ・大人がかかるとカゼと見分けがむずかしく知らず知らずに周囲へうつします。
- ・熱は通常出ないことが特徴です。

★ 大人の百日咳が流行中

- ・今年の百日咳患者の半数以上が大人です。大人の長びく咳は百日咳かもしれません。大人は知らないうちにたくさんの菌を排出しています。
- ・大人が赤ちゃんにうつして、重症になることが心配されます。
- ・咳込み発作や長引く咳がある人は、百日咳の疑いがないか早めにかかりつけ医に相談しましょう。

★ 百日咳にかかったら

- 治療を開始して約1週間は、学校や職場を休んで通院以外の外出をひかえます。
- 赤ちゃんに近づかないようにします。
- 咳の発作を誘発しないために
 - ・低温をさけ、室温は20度以上にたもつ。
 - ・室内の湿度を上げ、水分を十分にとる。
 - ・刺激の強い食物・乾燥した食物・粉末状の食物はひかえる。
 - ・たばこ、煙、ほこりなどをさける。



★三種混合ワクチン（DPTワクチン）で予防できます

- ・お出かけの機会が多くなる前に、生後3か月になったらすぐにワクチンを接種し免疫をつけましょう。
- ・生後3か月から約1か月毎に3回、その後1年から1年半あけて4回目の追加を接種します。
- ・受け忘れがないか母子手帳を確認しましょう。
- ・保育園・幼稚園でも受け忘れがないか確認して下さい。
- ・7歳5か月までは無料で接種できます。

